

静岡県

土地改良



第7回静岡県農村の魅力フォトコンテスト入選（三島市：三島箱根西麓地区）

○ 年頭のご挨拶	1
○ 第44回 全国土地改良大会 沖縄大会	13
○ 令和4年度 秋の叙勲・褒章	13
○ 令和4年度 静岡県知事表彰	13
○ 令和4年度 静岡県農林水産業功労者表彰式	14
○ 農業農村整備の集い	15
○ 農林水産省・財務省への要請活動	17
○ 令和5年度 予算編成に対する要望活動	20
○ 自民党県連・農林水産対策連絡協議会	21
○ 令和5年度 農林水産予算の概要	22
○ 換地計画実務研修会	23
○ 令和4年度 第2回 土地改良区等職員研修会	24
○ 令和4年度 第2回 監事会	25
○ 令和4年度 市町・土地改良区等代表者会議	25
○ 未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展	27



みどり
水土里ネット 静岡
静岡県土地改良事業団体連合会

年頭のご挨拶



水土里ネット静岡
(静岡県土地改良事業団体連合会)

会長 伊東 真英



令和5年の年頭に当たり、静岡県土地改良事業団体連合会の会員並びに関係者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、本会の運営並びに所管事業の推進につきまして、多大なご理解とご協力を賜っておりますことに衷心よりお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症は収束する気配がなく、本会の活動が制約を受けておりますことをお詫び申し上げます。

さて、自然災害が激甚化、頻発化する中、昨年は、本県においても9月の台風15号などにより甚大な被害を受けました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、明治用水頭首工の漏水という大きな事故もありました。

海外では、ロシアがウクライナに侵攻し、世界的な食糧不足や価格高騰とともに、生産資材、燃料などの価格や農事用電力料金の高騰も発生しています。

このため、食料生産を支える農地や農業用水施設などの生産基盤を良好に維持していくことが求められています。

また、農家の皆様や土地改良区、水利組合におきましては、水利施設の節電、省力化・省エネ化が求められています。

現在、国では、令和3年3月に閣議決定された「土地改良長期計画」及び令和3年5月に策定された「みどりの食料システム戦略」の実現に向け、農地の集積・集約化、農地の大区画化・汎用化等の農地整備、スマート農業の展開に向けた基盤整備、農業水利施設等の適正な維持・更新や、洪水被害防止対策やため池等の耐震化

など農村地域の防災・減災対策の推進を図っています。

本県においても、農地の集積・集約化や、ICTを活用した水管理などスマート農業の導入による省力化、水田の汎用化等の推進による高収益作物への転換、樹園地の区画整理、農道整備等による生産性の向上など生産基盤の強化を図るとともに、農村の振興に資する生活環境等の整備を進めています。

また、農業水利施設の適切な更新整備、農業用ため池等の緊急改築、水田や農業水利施設を活用した流域治水の取組の推進など農村の強靱化を図っています。

さらに、こうした施策を推進するため、多面的機能支払制度などによる地域の共同活動の促進にも努めています。

一方、農業農村の現場では、農業者の高齢化や減少が進行し、営農の継続、農地の保全が困難になるなど、厳しい現実に向き合っています。

市町、土地改良区においては、事業等の経験のある農業土木技術者が減少し、農地、農業用施設の整備や災害復旧の遅れに繋がっています。

このため、近年、土地改良区の体制や財務基盤の強化、会員の迅速かつ適切な事業実施などを目的に土地改良法の改正等が行われ、本県でも、会員支援の充実強化に努めているところです。

会員の皆様におかれましては、農業競争力の強化、農業用施設の適正管理、農村の強靱化等を進めるため、技術力向上や体制強化を行い、自らが主体となって積極的に基盤整備に取り組むようお願いします。

とりわけ、防災重点ため池などの短期的かつ集中的な改修整備、老朽水利施設の更新整備と併せた営農環境の変化に対応する施設整備、農地の集積・集約化を促す地域計画の策定による基盤整備への誘導、地域ぐるみで農地・農業用施設等を保全管理する多面的機能支払活動組織に対する支援などに土地改良区が積極的に参画することが求められています。

そのためには、市町にも、農業農村整備に精通し、高度な技術力を有し、地域の要請に的確に対応できる技術者が必要です。

国は、地財措置の拡充や負担割合を定めたガイドラインの設定等に加え、発注者が行う一連の業務を本会が代行する制度も創設し、市町や土地改良区等が事業主体となる団体営事業の促進を図っています。

本会におきましても、会員の皆様の技術力向上の支援や、発注者支援などに取り組んでおりますので、団体営事業の積極的な活用をお願いします。

結びに、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げまして、新年の挨拶と致します。

年頭挨拶



静岡県知事 川勝 平太

明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年もコロナに始まり、コロナに終わるという事態が続きました。感染拡大防止に向けて、県民の皆様の御協力、医療従事者の方々の御努力に深く感謝申し上げます。また、台風15号に伴う記録的な大雨により被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

今年は、富士山世界遺産登録10周年を迎えるとともに、全国の自治体の中から本県が「東アジア文化都市」に選定され、様々な文化芸術事業を実施します。日本の文化の中心、いわば「文化首都」として1年にわたり、「多彩な文化が花開く“オープンガーデンシアター”」というコンセプトのもと、日本の宝である富士山を中心に、日本文化の様々な魅力を国内外に発信していきます。

新たな総合計画では、基本理念である富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくりの柱に「静岡県をSDGsのモデル県に」を掲げています。安心して生活ができる日本は世界から見ればSDGsの達成に向けた模範となる国であり、世界から賞賛される人材、地域資源を持つ本県は間違いなくモデル県といえます。2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、先端技術や新たな仕組みを積極的に取り込み、エネルギーの多様化を推進し、企業の脱炭素経営への転換を支援してまいります。

人材育成については、今春、県内初の夜間中学「県立ふじのくに中学校」が開校します。年齢も性別も国籍も関係なく、学びたいと思う誰もが十分に学べる場を提供し、一人一人が学ぶ喜びを実感できる学校づくりを進めていきます。また、静岡社会健康医学大学院大学に博士課程を設置し、医療・保健・福祉の向上に貢献できるプロフェッショナル人材を育成していきます。

豊かな暮らしの実現に必要なものの一つは、食べ物です。山梨・長野・新潟の3県との連携による「バイ・山^{やま}の^{くに}洲」の推進により、新たな広域経済圏を形成し、「生産」と「消費」の好循環を創出してまいります。

コロナ禍によりデジタルの可能性が一気に高まり、働き方や暮らし方の多様化が進んでいます。交通インフラとデジタル化が整うことで、すべての人々の不便が解消できるオープンパブリックガーデンを目指してまいります。

防災については、県民の皆様の生命や財産を守るため、南海トラフ巨大地震による犠牲者の最小化や流域治水によるハード・ソフトの両面で県土強靱化に取り組むとともに、国や市町、防災関係機関との連携体制の更なる強化を図ってまいります。

本年は、本県が日本の文化の顔として、文字通り世界の檜舞台に立つ門出となる年です。皆様方が主役です。誰一人代わりになる人はいない、かけがえのない存在です。一緒に素晴らしい日本の理想郷「ふじのくに」を創ってまいりましょう。

結びに、今年一年の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。



新年に当たって



全国水土里ネット
(全国土地改良事業団体連合会)

会長 二階 俊博



令和5年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な感染対策を講じた上で、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図るウイズコロナの方針が示されました。皆様におかれましては、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き、感染拡大防止に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

また、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、一部の国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料流通の機能不全や食料価格の高騰など食料安全保障をめぐる負の影響が国際社会に生じました。

国内では、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、燃料価格の上昇に伴う農事用電力料金の急激な高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような国内外の情勢にかかわらず、食料安全保障の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

岸田内閣は、こうした状況を踏まえて「食料・農業・農村基本法」の見直しに着手しました。この検討の動きを注視しつつ、我々土地改良関係者は、農業・農村の喫緊の課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,457億円を確保すること

ができました。この結果、令和4年度の補正予算を含めると6,134億円となります。

また、令和4年度補正予算において燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の七割を支援する仕組みが導入されました。

御尽力をいただいた当局をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、我々土地改良団体における喫緊の重要課題となっています。

将来の組織体制の強化・発展のためにも女性参画を進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、私は本会の会長に就任以来「闘う土地改良」を掲げ、組織一体となって闘ってまいりました。昨年の参議院選挙においては、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員が見事に当選を果たされました。

宮崎雅夫参議院議員と共に「車の両輪」となって、全国を駆け回り、皆さんの声を聞き、土地改良予算の確保だけでなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声が国会に届くよう、二人の活動の支援をお願いいたします。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます。私の新年の御挨拶といたします。



新年のご挨拶



全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。静岡県土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいりる覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円（TPP等対策：760億円、国土強靭化5か年加速化対策：817億円、食料安全保障対策：100億円）が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、本年度と同様に地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、2月のロシアのウクライナへの侵略により、エネルギー価格の上昇、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、円安の急激な進行による物価の上昇等があり、これらは国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じてきたところですが、これらを含め物価高は本年も続くと思われます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいりる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の

進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靭なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識しております。

また、昨年6月の参議院決算委員会で、私は政治信条である「食料安全保障」について岸田総理に対し質問しました。総理からは「食料の安定供給の確保は国家の国民に対する最も基本的な責務の一つ。新しい資本主義のビジョンの下、食料安全保障を強化するべく政府一体となって取り組んでいきたい」との答弁を頂きました。

私は、「食料供給力」（国内生産力、輸入力、備蓄）の中で弱体化している国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中長期的な展望を持って推進していくことが重要です。このため、今後も予算を安定的に確保するとともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、目に見える成果を出していく必要があります。

本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げ、新年のご挨拶にさせていただきます。



新年のご挨拶



全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮崎 雅夫



輝かしい初春を迎え、静岡県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様方へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、昨年8月まで農林水産大臣政務官を勤めさせていただき、その間皆様方からお受けした、たくさんのご要望等に対し、それぞれの地域の課題解決等に向け、進藤金日子議員や農水省の職員の皆さん等と共に一所懸命に対応させていただきました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した平成4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、このうち、農業農村整備事業関係については、1,677億円（食料安全保障強化対策100億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靱化817億円）が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金の高騰対策として、増嵩分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算概算額として、前年を上回る4,457億円が計上されており、総額6,134億円となる見込みとなりましたが、これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できるよう努めてまいります。

さらに、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、とりわけ、カロリーベースで6割程度を輸入に頼る我が国の食料事情にあって、その安定供給を図る食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められております。国内農産物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業の取組促進や農業農村関係人口の拡大などを含めて、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいりる決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、静岡県土地改良事業団体連合会ならびに会員機関、関係機関の益々のご発展と皆様方のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



第44回全国土地改良大会 沖縄大会 開催

水土里の拓くみるく夜を 鳴らしとぅゆまし守禮の邦から



令和4年11月22日（火）、沖縄アリーナ（沖縄市）において、「第44回全国土地改良大会 沖縄大会」が開催されました。沖縄県の本土復帰50周年を記念して開かれた本大会には、約2,300人以上の土地改良・農業農村整備事業関係者が一堂に会しました。

不安定な国内外の情勢が続く、国民の命を支える食料の安定確保の重要性が高まる昨今。沖縄大会では「農業農村整備事業の重点的な推進と、かんがい施設を適切に維持・管理する土地改良区へのサポートが必要不可欠」と、持続可能な農業農村を可能とするための展開方向が示されました。

大会の前段では、土地改良事業功績者表彰が執り行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰45名が栄誉に浴されました。

本県からは、金谷土地改良区理事長で、本会副会長の大石好昭氏が農林水産大臣表彰、

伊東市富戸吉田土地改良区理事長の伊藤賢二氏が、全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞しました。

後段の基調講演では、農林水産省農村振興局長の安部伸治氏が「夢（いみ）をつなぐ土地改良」と題して、沖縄県における土地改良の歴史を交えて、土地改良をめぐる動きと取り組みを紹介。続いて行われた優良事例紹介では、農業生産法人株式会社大嶺ファーム代表取締役の上地登氏から「地下ダム完成による水なし農業からの脱却と宮古農業の発展」、瀬名波土地改良区理事長の當山眞市氏から「読谷村軍用地返還跡地土地改良事業と瀬名波地区について」の講演が行われました。

最後に、沖縄県土地改良事業団体連合会職員の知念智子氏と島袋朝気氏が、新しい時代の土地改良へ向けて進んでいく事を表明する大会宣言を力強く行い、次期開催県の福井県に大会旗が引き継がれ、大会は盛況のうちに幕を閉じました。



農林水産大臣表彰

✧ 大石好昭氏 ✧

金谷土地改良区理事長、
静岡県土地改良事業団体連合会副会長

全国土地改良事業 団体会長表彰

✧ 伊藤賢二氏 ✧

伊東市富戸吉田土地改良区理事長



壇上にて表彰状を授与された大石副会長

令和4年度 秋の叙勲・褒章



旭日双光章

※ 曾根嘉明氏 ※

島田市議会議員（元）
大井川土地改良区 副理事長

令和4年11月4日（木）、静岡県庁（静岡市）において、長年にわたり地方自治や社会福祉など、様々な分野で貢献してきた方々への功績を讃える、「令和4年度 秋の叙勲」が発令されました。

本県の土地改良関係者からは、功績の内容に着目し顕著な功績を挙げた方に授与される旭日章に、大井川土地改良区副理事長の曾根嘉明が、受賞の栄に浴されました。

令和4年度 静岡県知事表彰



※ 長津精二氏 ※

灰の木原土地改良区理事長

令和4年11月3日（木）、静岡県庁において、「静岡県知事表彰」が行われました。静岡県知事表彰は、地方自治や社会福祉、治安維持、環境保全など各分野で県勢の伸展に尽力した個人と団体を表彰するものです。

土地改良関係者からは、産業開発振興分野において、灰の木原土地改良区理事長の長津精二氏が受賞の栄に浴されました。

令和4年度 静岡県農林水産業功労者表彰式

令和4年11月4日（金）、静岡県庁において、「令和4年度 静岡県農林水産業功労者表彰」が執り行われました。静岡県農林水産業功労者表彰は、本県の農林水産業の生産性の向上、及び農林水産業者の所得増大を図る上で功労のあった個人と団体を表彰するものです。本年度は農業部門19名、林業部門5名、水産業部門3名の計27名が表彰されました。

土地改良関係者からは、元 高根西部塚原土地改良区理事長の杉山豊氏と、元 原土地改良区理事長の瀧幸雄氏のお二人が、受賞の栄に浴されました。



※ 杉山豊氏 ※

高根西部塚原土地改良区理事長（元）



※ 瀧幸雄氏 ※

原土地改良区理事長（元）

ここに改めて受賞者の方々に対しお祝いを申し上げますとともに、今後一層のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

農業農村整備の集い



令和4年10月20日（木）、砂防会館別館シェーンバッハ・サボー（東京都）において「農業農村整備の集い」が開催され、多数の国会議員を含め約1,000名を超える土地改良関係者が参集しました。

本会は、全国の農業農村整備に携わる関係者が一堂に会して、現場で直面している喫緊の課題を共有・再認識し、諸課題に緊急に対応すべく、農業農村整備事業の一層の充実と推進を期することを目的に開催されています。

開会挨拶の中で、全国土地改良事業団体連合会会長の二階俊博氏は、「闘う土地改良」は限りなく続くと言え、農家の方々に期待を持って働いていただける環境をつくるた

め、我々は十分な予算の確保に向けて、一致団結していく必要がある」と強く訴えました。

来賓祝辞では、農林水産大臣政務官の藤木眞也氏、自民党総務会長の遠藤利明氏、自民党TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長の森山裕氏、自民党総合農林政策調査会長の江藤拓氏、自民党農林部会長の武部新氏、都道府県水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子氏から、日本の食料安全保障の基盤となる土地改良への熱い思いが語られました。

その後、要請案文を第44回全国土地改良大会開催主催である、沖縄県土地改良事業団体連合会副会長の知念武冲氏が読み上げ、全会一致で採択となり、最後に参加者一堂によるガンバロウ三唱で閉会しました。

要 請 書

- 一．食料自給力の維持・向上を通じて食料安全保障に寄与する土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算において、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二．大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル化、事務手続きの更なる簡素化を図ること。
- 三．農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 四．農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。
- 五．ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設管理の省力化・高度化を図るとともに、情報通信技術を扱う土地改良技術者等の人材育成を図ること。
- 六．主として中小規模の土地改良区を対象とした合併等を推進するとともに、土地改良区における複式簿記の定着・活用、燃料価格や農事用電力料金の急激な高騰への対応など、運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 七．流域治水の取組推進に当たっては、関係する農業水利施設の管理者や田んぼダムに取り組む農業者に過度な負担や責任が生じないように配慮すること。
- 八．水田活用の直接支払交付金の見直しにおいて、土地改良に与える影響を踏まえ、必要な措置を講ずること。
- 九．上記事項の実施に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。

令和4年10月20日 全国土地改良事業団体連合会
都道府県土地改良事業団体連合会

農林水産省・財務省への要請活動



農林水産副大臣 勝俣 孝明 氏



農林水産副大臣 勝俣 孝明 氏



農林水産副大臣 勝俣 孝明 氏

令和4年10月26日（水）、東京都内において、農林水産省と財務省に対して「農業農村整備に係る令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算編成に対する要請活動」を行いました。要請内容は以下の通りです。

1 農業の競争力強化の推進と食料安全保障の強化について

- (1) 農業の力強い発展を目指した基盤整備の推進
- (2) 畑作物の振興に向けた地域の実情に応じたきめ細かな基盤整備の推進
- (3) 農地中間管理機構関連農地整備事業の要件緩和と制度拡充

- ① 農業農村整備関連事業の当初と補正を合わせた必要予算の確保
- ② 輸入依存度の高い畑作物の生産拡大のための基盤整備の推進
- ③ 茶園や傾斜畑地における農地中間管理機構関連農地整備事業の下限面積要件の緩和

2 基幹農業水利施設の着実な更新整備と長寿命化対策について

- (1) 基幹農業水利施設の着実な更新整備と長寿命化対策
- (2) DXを活用した農業水利施設の省力化対策

- ① 県内の基幹農業水利施設の長寿命化や耐震化、省力化を進めるための安定的な予算の確保
- ② 土地改良区等の体制強化、農業の成長産業化を図るための農業DXの取組への支援

3 農業用施設の防災減災対策について

- (1) 農業用施設の防災減災対策
- (2) 市町村・土地改良事業団体連合会支援のための財源確保

- ① 防災・減災、国土強靱化のための対策を計画的に推進するために必要な予算の安定的・継続的な確保
- ② ドローン等の新技術を活用した機能診断や保全計画策定等を行うための予算の確保
- ③ 被災した市町村の復旧復興のために派遣する技術職員を土地改良事業団体連合会が増員した場合の財政支援制度の創設

4 流域治水に向けた取組の制度拡充について

- (1) 「流域治水」に取り組む土地改良区等への支援
- (2) 既存ダムの洪水調節機能強化の取組に係る土地改良区等への支援

- ① 農業水利施設、利水ダム、農業用ため池等の管理者や田んぼダムに取り組む農業者に過度な負担が生じないように、管理等についての支援制度の拡充
- ② 利水ダムの事前放流後、ダム貯水位が回復しなかった場合、取水の柔軟な運用や損失補填制度の創設等の実現に向けた支援

5 土地改良区体制強化対策の充実について

- (1) 土地改良区の体制強化への支援の充実
- (2) 農事用電力料金高騰による増大する農家負担の軽減のための支援策の充実

- ① 用水等の施設管理を行う土地改良区や小規模土地改良区に対する、運営支援や体制強化対策の充実
- ② 土地改良区の運営に対する支援についての迅速な対応（特に施設に係る電気料金の負担軽減等）

6 土地改良施設維持管理適正化事業の予算拡大について

- ① 土地改良施設の適時適切な維持管理を図るための予算の増額
- ② 持続的生産体制の構築や持続可能な農山漁村の創造を図るための、防災・減災機能等強化事業予算の確保

7 多面的機能支払交付金の制度拡充について

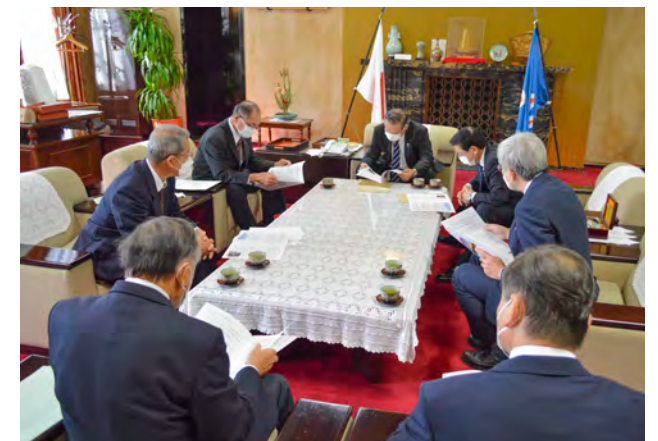
- ① 「多面的機能支払制度」の対象拡大
- ② 地元活動組織にとって取り組み易い制度や事務手続きの一層の簡素化
- ③ 活動を継続するための十分な予算の確保



令和5年度 予算編成に対する要望活動



静岡県議会（議長）藪田 宏行 氏、（副議長）和田 篤夫 氏



農林水産担当部長 櫻井 正陽 氏



静岡県経済産業部農地局

令和4年11月4日（金）、静岡県庁において、静岡県に対して「令和5年度農業農村整備予算編成に関する要望活動」を行いました。

1 農業の力強い発展を目指した基盤整備の推進について

- 農業の競争力強化のための農業農村整備事業の安定的な予算の確保

2 基幹農業水利施設の着実な更新整備と長寿命化対策について

- （1）基幹農業水利施設の着実な更新整備と長寿命化対策
- （2）DXを活用した農業水利施設の省力化対策

- ① 基幹農業水利施設の長寿命化や耐震化、省力化を進めるための安定的な予算の確保
- ② 土地改良区等の体制強化、農業の成長産業化を図るための農業DXの取組への支援

3 農村地域の国土強靱化の推進について

- ① 県民の生命と財産を守るための、農村地域防災減災事業の安定的な予算確保
- ② ドローン等の新技術を活用した機能診断や保全計画策定等を行うための予算の確保

4 農事用電力料金高騰により増大する農家負担の軽減のための支援策の充実について

- 用水等の施設管理を行う土地改良区良区の運営に対する支援についての迅速な対応

5 土地改良施設維持管理適正化事業の予算拡大について

- ① 土地改良施設の適時適切な管理を図るための予算の増額
- ② 持続的生産体制の構築や持続可能な農山漁村の創造を図るための、防災・減災機能等強化事業予算の確保

自民党県連・農林水産対策連絡協議会



令和4年11月4日（金）、静岡県総合研修所 もくせい会館（静岡市）において、「自民党県連・農林水産対策連絡協議会」が開催されました。本協議会は、県内各界各層の農林水産業関係者の要望を来年度予算に反映させるため、毎年自民党静岡県連が予算編成期に行っています。

今回は静岡県の農業・農村が置かれている現状と課題を本会から説明した後、大井川土地改良区理事長の内田幸男氏と、寺谷用水土地改良区理事長であり、本会副会長の池田藤平氏から、要望の中でも特に推進を強めたい「農業の競争力強化の推進」と、昨今の喫緊の課題となっている「農事用電力高騰により増大する農家負担の軽減のための支援策の充実」についての要望説明がされました。

令和5年度 農林水産予算の概要

農林水産省の令和5年度 農林水産予算概算決定の概要が決定されました。

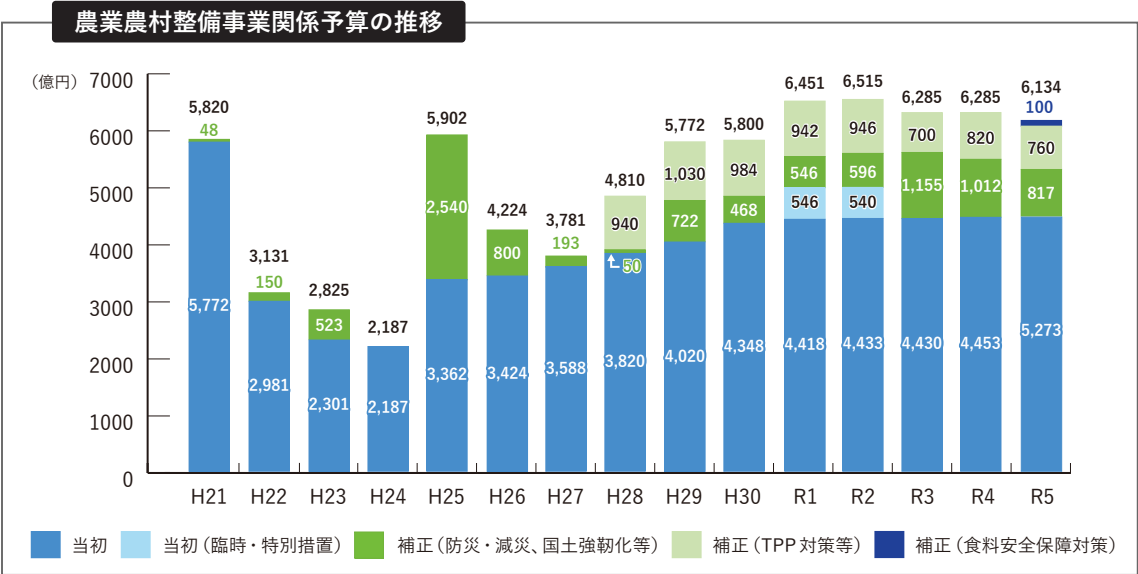
農林水産予算の総額は2兆2,683億円（前年比99.6%）、農業農村整備事業費は3,323億円（前年比100.1%）となっています。

令和5年度 農業農村整備事業関係予算概算決定の概要

（単位：億円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 概算決定額 A	令和4年度 補正予算額 B	合 計 A + B
農業農村整備事業〈公共〉	3,321	3,323 (100.1%)	1,677	3,933 (118.4%)
農業農村整備関連事業〈非公共〉 ・ 農地耕作条件改善事業 ・ 農業水路等長寿命化・防災減災事業 ・ 農山漁村振興交付金	540	543 (100.6%)	—	543 (100.6%)
農山漁村地域整備交付金〈公共〉 （農業農村整備分）	591	591 (100.0%)	—	591 (100.0%)
合 計	4,453	4,457 (100.1%)	1,677	6,134 (118.4%)

（注）1. 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。
2. 下段（ ）額は、令和4年度当初予算額との比率である。



換地計画実務研修会

静岡県男女共同参画センター あざれあ（静岡市）において、令和4年度 換地計画実務研修会を 令和4年11月1日（火）、2日（水）、8日（火）の3回に分けて開催しました。

この研修会は、土地改良区体制強化事業実施要綱に基づき、土地改良事業における換地業務の基本的知識について研修することで、換地業務の円滑な推進を図るために開催しています。



1日 (火)	基礎調査（経営体育成促進換地等調整事業）	県土連 会員支援課 鈴木
	土地改良法の概要（法手続き関係）	県経済産業部 農地局 農地整備課 山本敏晴 氏
	換地理論	関東農政局 土地改良管理課 土地改良指導官 福田芳雄 氏
2日 (水)	農地制度について	県経済産業部 農地局 農地利用課 石田圭祐 氏
	土地改良事業における換地税制等について	静岡税務署 資産税部門 審理専門官 服部正人 氏
	行方不明者の対応、財産管理人の選定等について	静岡家庭裁判所 裁判所書記官 大村 愛 氏
	国有地地区編入手続きについて （二線引畦畔及び脱落地の処理）	東海財務局 静岡財務事務所 管財課 国有財産管理官 中島和信 氏
8日 (木)	相続登記について（相続土地国庫帰属制度）	静岡地方法務局 不動産部門 登記官 遠山直久 氏
	換地制度を活用した非農用地換地手法	県土連 事業支援課 石原
	土地評価と換地清算	県土連 事業支援課 森
	換地選定の要領と実務	県土連 事業支援課 登澤
	換地計画書作成等について	県土連 会員支援課 鈴木
	一時利用地と換地処分・処分登記	県土連 会員支援課 鈴木

令和4年度 第2回 土地改良区等職員研修会

令和4年12月2日（金）、静岡県産業経済会館（静岡市）において、「令和4年度 第2回 土地改良区等職員研修会」を開催しました。今回の研修会には、複式簿記を導入する土地改良職員等37名の参加がありました。

講師には静岡県経済産業部農地局農地整備課 副班長の山本敏晴氏と、税理士の佐藤大地氏をお迎えし、土地改良法の132条検査での指摘事項や、会計処理における主要なチェックポイント等を、具体例を交えてお話していただきました。

カリキュラム



土地改良区の検査結果について

静岡県 経済産業部 農地局
農地整備課 副班長
山本敏晴 氏

01



土地改良区複式簿記会計における会計処理のチェックポイントについて

税理士 佐藤大地 氏

02

複式簿記会計導入等相談窓口

土地改良区の複式簿記会計等の導入にあたり、会計の専門家（税理士）と連携して相談窓口を設置しています。会計等のご相談は以下の窓口までお願いします。

【相談・お問合わせ先】 静岡県土地改良事業団体連合会 会員支援課

☎ 054-255-5151 ✉ kaiin@sizdoren.jp

令和4年度 第2回 監事会

令和4年12月9日（金）、本会会議室において、「令和4年度 第2回 監事会」を開催しました。

今回は（1）「令和4年度 中間監査について」、（2）「令和4年度 中間監査の報告について」の全2議案について報告し、円滑かつ適正な運営を行うための確認・検討がされました。



令和4年度 市町・土地改良区等代表者会議

令和5年1月31日（金）、静岡県男女共同参画センター あざれあ（静岡市）において、「令和4年度 市町・土地改良区等代表者会議」を開催しました。本会議は、農業農村整備事業の施策や農業・農村における様々な取り組み、農業情勢などを研修することを目的に開催しているものです。

開会にあたり、伊東会長はあいさつの中で農業・農村が迎えている厳しい状況に触れ、「農業経営をなさっている方や、農村を維持していこうと苦心をされている方々との連携を更に深めながら、我々はしっかりと地域作りとしての土地改良事業を実現していかなければならない。」と参加者に呼びかけました。

農業農村整備事業に造詣の深い有識者を講師としてお招きし、全5項目で構成された本会議では、講演を通して時代の変化に対応するための提案や情報が紹介されました。

特別講演

静岡の水土里を未来に！ 水土里ネットの役割から男女共同参画を考える

土地改良団体における男女共同参画推進業務
有識者委員会 委員長 太田 信介 氏

農業や社会が大きく変化する中で、水土里ネットを未来へ繋ぐためにはどうしたらよいか。男女共同参画の推進が、土地改良区が多様性のある組織へ変革するための起因となりえる理由を、事例を交えて解説。



講演

農業農村整備事業等に係る情勢

全国水土里ネット会長会議 顧問
参議院議員 宮崎 雅夫 氏

国内外の社会情勢や食料事情等を踏まえた、最新の国政を報告。現在審議中の来年度当初予算の説明に加え、農業農村を支える事業の新規・拡充事項や、農業・農村基本法の見直し検討について等の説明をされた。



情報提供 ①

農業用排水路の安全対策について

静岡県 経済産業部 農地局 農地整備課
課長代理 土屋 政幸 氏

近年の農村地域の都市化・混在化に伴う、農業用排水路への転落事故の発生と危険性の問題を提起。地域住民組織と連携した安全対策委員会の設置による、ハード・ソフト両面での安全対策の展開が紹介された。



情報提供 ②

スマート農業の展開について

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課
調査官 長谷川 明宏 氏

先端技術を実際の生産現場に導入し、導入による経営改善の効果を明らかにする『スマート農業実証プロジェクト』の事例を紹介。現場実装の加速化を推進するための取組状況を、検証結果の分析を合わせて説明された。



情報提供 ③

ドローンを活用した業務展開

静岡県土地改良事業団体連合会 事業支援課
課長 仲田 往久 氏

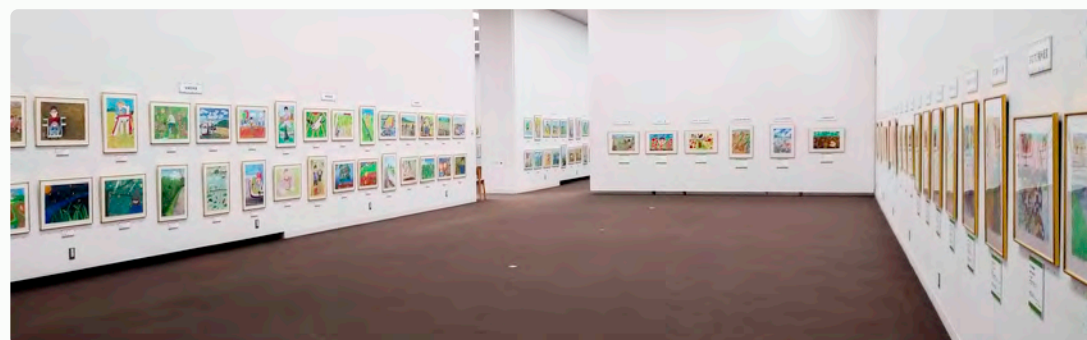
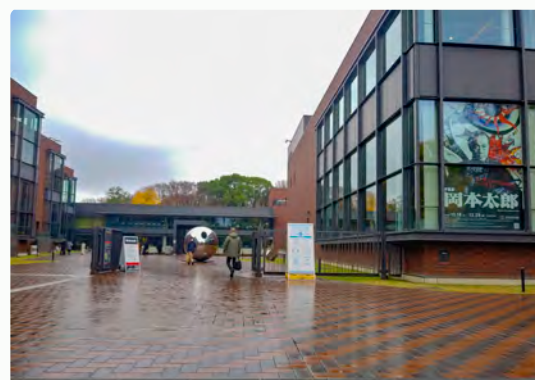
「IoT」の分野で特に有望視されているドローンを活用した水土里ネット静岡の業務展開を説明。デモンストラレーションを交えて、三次元設計や、精密農業施設の点検、土壌水分量の把握等の応用事例を紹介した。



〳 未来へつながろう！ 〳

ふるさとの水土里 子ども絵画展

結果発表



「未来へつながろう！ふるさとの水土里 子ども絵画展」へのたくさんのご応募ありがとうございました。10月6・7日（木・金）に本審査が東京都で行われ、全国から集まった2,993点の作品中、本県からは地域団体賞1点、入選8点、佳作6点が選出されました。

東京都美術館で行われた展示会の様子は、全国水土里ネットのWebサイトでご覧いただけます。



水土里ネット静岡会長賞



丹那のとうもろこし



★
入
選
★



わたし このこ大好き
（年中）



我が家の野菜
（小学6年生）



きれいな川にいろんな魚いるんだね
(年少)



そ〜れ いくよ〜
(年長)



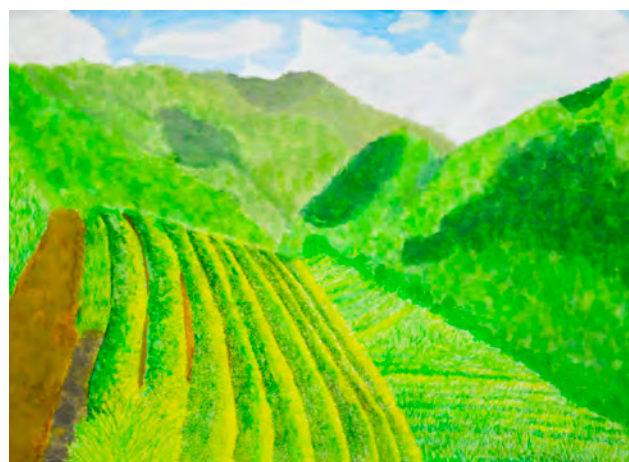
でっかくなったもんだな〜
(年長)



おじさんの葡萄 今年もがんばったね
(小学1年生)



富士山の水を分けよう いねと虫たちに
(小学3年生)



私の家の茶畑
(小学6年生)



「水土里ネットふくい」のホームページで大会 PR 動画を公開中！
<https://www.midorinet-fukui.jp/oshirase/post-1786/>

表紙
写真



タイトル |
風に吹かれて美味しくなる

撮影者 | 塩川 里美 さん
撮影地 | 三島市（三島箱根西麓地区）

行事予定 | 2月～3月

日 付	行 事 内 容	場 所
2月17日（金）	第3回 理事会	静岡市産学交流センター ペガサート（静岡市）
3月20日（月）	第66回 通常総会	ホテルグランヒルズ （静岡市）
3月23日（木）	第64回 全国土地改良功労者等表彰	砂防会館 シェーンバッハ・サボー （東京都）

新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、行事の日程や内容に変更が生じる場合があります。変更が発生した際には改めてご案内をいたします。ご了承ください。



水土里ネット静岡（静岡県土地改良事業団体連合会）

■ 本 部（事務局、総務経理課、会員支援課、事業支援課）

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
 TEL : (054) 255-5151 / FAX : (054) 255-3581
 E-mail : 総務経理課 soumu@sizdoren.jp
 会員支援課 kaiin@sizdoren.jp
 事業支援課（事業・水土里） jigyo@sizdoren.jp
 （換地） kanchi@sizdoren.jp

■ 東部事業所

〒410-055 沼津市高島本町1-3
 TEL : (055) 920-2269 / FAX : (055) 920-2192
 E-mail : toubu@sizdoren.jp

■ 中部事業所

〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20
 TEL : (054) 286-9273 / FAX : (054) 286-9274
 E-mail : shisetsu@sizdoren.jp

■ 西部事業所

〒438-0086 磐田市見付3599-4
 TEL : (0538) 37-2316 / FAX : (0538) 37-2403
 E-mail : seibu@sizdoren.jp

本会ホームページ <http://www.sizdoren.jp>